

2024 年度（総合型選抜）AO選抜入学試験

文学部 国際文化学域

「国際方式（英語・ドイツ語・フランス語・スペイン語・イタリア語・中国語・朝鮮語）」

1. 実施状況

志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻	志願者数	一次合格者数	最終合格者数
国際文化学域	47	33	28

2. 第一次選考＜ES(エントリーシート)と課題レポート・志望理由書等＞

(1) 評価ポイント

提出された出願書類に基づき、これまでの国際的経験から学び得たことや、大学で学びたいテーマについて具体的にまとめられているかどうか、そしてそれらが国際文化学域で学ぶ目的と関連づけられているかどうかに着目しました。

(2) 解答状況

国際文化学域の教学内容に合致していない記述も多少見られましたが、ほとんどの出願書類は(1)の評価ポイントを満たしていました。学業成績や外国語運用能力は高い傾向を示していました。

3. 第二次選考

(1) 評価ポイント

面接者の質問内容を理解し、適切に回答できているかどうかに着目しました。国際的な視野と積極的な学習意欲を持ち、将来の進路やキャリアビジョンを描けているかどうかについても確認しました。

(2) 解答状況

高校における探求学習の成果と思われるが、スムーズかつ明瞭に自身のことばで説明することができる受験者がほとんどでした。面接者の質問を理解した、説得力のある回答をしてくれる受験者が多かったです。

(3) 試験（面接）内容

基本的には、ES及び志望理由書の内容に基づく質疑応答です。これまでの経験、国際文化学域を志望する理由、卒業後に希望する進路を口頭で説明し、関連する質問に答えるという構成です。

(4) 出題（面接）の意図

大学で学びたいテーマと国際文化学域の教学内容が一致しているかどうかを確認します。同時に、面接者とのやりとりを通じて、論理的思考力、表現力、主体性などを有しているかどうかも確認しています。

(5) 受験生に望むこと、その他気付いた点

国際文化学域は、芸術、歴史、文学、思想といった人文学の諸学問を横断的に学ぶことができる学域です。これまでに培った力をさらに伸ばすため、自身が学びたいテーマにまつわる情報収集や語学学習など、今からできることを見つけてもらいたいと思います。

以上